

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO. **23**

目次

	常設展		作品管理
004	第1期常設展示	015	作品貸出実績
008	高橋節郎館 第1期常設展示		
	企画展		教育・普及
010	ブリューゲル展 画家一族150年の系譜	017	講演会、シンポジウム 講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ コンサート、映画上映会、パフォーマンス等 アウトリーチ活動 庭園活用事業 作品ガイドボランティア
		018	出版、ビデオ、オーディオガイド制作 小・中学校美術館学習 研修会 博物館実習
			利用実績
		019	観覧者数 ギャラリー利用状況
		020	ライブラリー利用状況 レストラン等付属施設利用状況
			組織
		021	組織図
		022	美術館運営協議会 美術品収集委員会 作品ガイドボランティア
			関係法規
		023	豊田市美術館条例
		024	豊田市美術館管理規則
		028	沿革

凡例

◎常設展示、企画展示の出品作品のデータは、原則として以下のとおりに記した。

作家名

作品名

制作年

技法、素材

寸法（縦×横×奥行、高さはH、直径はφで表示）

所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展示における所蔵者

「豊田市美術館」の記載も省略した。

第1期常設展示

2018年4月24日 [火]ー7月16日 [月・祝]

74日間

展示室 1-7

展示室 1

コレクション: 閉じる、開く、また閉じる。

01

草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4cm

02

村上 友晴
無題
1989-90年
油彩、カンヴァス
162.0×130.0cm

03

ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、髪のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

04

コンスタンティン・ブランクーシ
眠る幼児
1907年 (1960/62年铸造)
ブロンズ
10.6×16.3×14.2cm

05

ジュゼッペ・ペノーネ
まぶた
1989-91年
石膏、木炭、布
サイズ可変

展示室 2

コレクション: 閉じる、開く、また閉じる。

06

野村 仁
宇宙はきのこのように発生したか
1987年
ガラス
26.0×22.0×22.0cm

07

野村 仁
宇宙は収縮に転ずるか?
1989年
ガラス
38.0×23.5×28.5cm

08

杉戸 洋
untitled
2007年
アクリル、カンヴァス
263.0×365.0cm

09

杉戸 洋
untitled
2007年
アクリル、カンヴァス
245.0×347.0cm

10

プリンキー・バレルモ
無題 (セロニアス・モンクに捧げる)
1973年
合板、塗料 (黒)、鏡
22.2×89.6×3.2cm

展示室 3

コレクション: 閉じる、開く、また閉じる。

11

イミ・クネーベル
戦闘 No.1
1991年
ラッカー、硬質繊維板
260.0×200.0cm

12

高松 次郎
点
1961年
ラッカー、針金
43.0×37.0×28.0cm

13

ジェームズ・リー・バイヤーズ
球形の本 (*Q Is Point*)
1990年
大理石
68.0×68.0×68.0cm

14

高松 次郎
赤ん坊の影 No.122
1965年
ラッカー、カンヴァス
182.0×227.0cm

15

高松 次郎
紐 (黒 No.1)
1962年
ミクストメディア
6.0×287.0×6.0cm

16

高松 次郎
紐 (黒)
1962年
ミクストメディア
10.5×296.5×14.0cm

17

ヨーゼフ・ボイス
はい はい はい はい はい、いや いや いや
いや いや
1969年 (2001年CD化)
1968年12月14日にデュッセルドルフ芸術アカデミーで行われたパフォーマンスの音声
(ヨーゼフ・ボイス、ヨハネス・シュトゥットゲン、ヘンニヒ・クリスティアンセン)
64'53''

展示室 4

コレクション: 豊田市美術館+愛知県美術館

18

高松 次郎
点 (No.1)
1961年
ラッカー、針金
17.0×13.0×10.0cm

19

サム・フランシス
消失点に向かう地点の青
1958年
182.8×238.7cm
愛知県美術館蔵

20

ジョアン・ミロ
絵画
1925年
油彩、カンヴァス
97.0×130.0cm
愛知県美術館蔵

21

ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

22

イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2cm

23

ポール・デルヴォー
こだま
1943年
油彩、カンヴァス
105.0×128.0cm
愛知県美術館蔵

24

ルネ・マグリット
無謀な企て
1928-29年

25

フランシス・ベーコン
スフィンクス
1953年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

26

マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0cm

27

マックス・エルンスト
王妃とチェスをする王
1944年 (1954年铸造)
ブロンズ
96.0×82.5×53.5cm

28

マックス・エルンスト
ポーランドの騎士
1954年
油彩、カンヴァス
116.0×89.0cm
愛知県美術館蔵

29

ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3cm

30

フランティシク・クプカ
灰色と金色の展開
1919年
油彩、カンヴァス
60.0×81.0cm
愛知県美術館蔵

31

フェルナン・レジェ
緑の背景のコンポジション (葉のあるコンポジション)
1931年
油彩、カンヴァス
92.0×73.0cm
愛知県美術館蔵

32

ジャン・アルブ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年

木に着色
79.9×79.3×9.0cm

33

吉原 治良
無題
1961年
油彩、カンヴァス
162.0×131.0cm

34

バルテュス
白馬の上の女性曲馬師
1941年 (1945年加筆)
油彩、ボード
78.5×89.7cm
愛知県美術館蔵

35

ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1985年
フェルト帽、脂肪、絵具、新聞紙
14.5×25.5×17.5cm

展示室 5

コレクション: 豊田市美術館+愛知県美術館

36

パブロ・ピカソ
青い肩かけの女
1902年
油彩、カンヴァス
60.3×52.4cm
愛知県美術館蔵

37

マリノ・マリニー
奇跡 (小)
1955年
ブロンズ
43.5×45.4×15.9cm

38

グスタフ・クリムト
若い女性の横顔
1895年頃
鉛筆、紙
39.0×30.5cm

39

グスタフ・クリムト
〈ヘルミーネ・ガリアの肖像〉の習作
1903/04年
鉛筆、紙
45.2×31.6cm

40

グスタフ・クリムト
左向きに立つ裸婦
1906/07年

鉛筆、紙
56.0×36.5cm

41

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

42

グスタフ・クリムト
〈オイゲニア・プリマフェージの肖像〉の習作
1913/14年
鉛筆、クレヨン、紙
56.5×36.0cm

43

グスタフ・クリムト
眠る裸婦
1915年頃
鉛筆、紙
35.8×56.0cm

44

グスタフ・クリムト
人生は戦いなり (黄金の騎士)
1903年
油彩、テンペラ、金箔、カンヴァス
100.0×100.0cm
愛知県美術館蔵

45

オスカー・ココシュカ
夢見る少年たち
1908年 (1917年クルト・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
8枚組

46

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

47

オスカー・ココシュカ
コロナ I
1918年
リトグラフ、チョーク、紙
55.7×40.3cm

48

オスカー・ココシュカ
コロナ II
1918年
リトグラフ、チョーク、紙
60.6×47.0cm

49

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

50

エゴン・シーレ
第49回分離派展のポスター
1918年
リトグラフ、紙
67.8×53.1cm

51

パウル・クレー
女の館
1921年
油彩、厚紙
41.7×52.3cm
愛知県美術館蔵

52

アンリ・マティス
待つ
1921-22年
油彩、カンヴァス
61.0×50.0cm
愛知県美術館蔵

53

エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー
グラスのある静物
1912年
油彩、カンヴァス
100.0×74.0cm
愛知県美術館蔵

54

コロマン・モーザー
椅子
デザイン年: 1902/03年、
製造年: 1903年 (プラハ=ルドニカー社)
カシ、蘭
122.0×42.5×53.0cm

55

コロマン・モーザー
アームチェア
製作年: 1903年頃 (プラハ=ルドニカー社)
ブナ、藤
71.3×67.3×65.7cm

56

ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・ブルカースドルフの食堂の椅子
製作年: 1904年 (ヤーコブ ウント ヨーゼフ・コーン)
ブナ、革
98.7×43.8×40.5cm

57

ヨーゼフ・ホフマン
座るためのマシーン
製作年: 1905年頃 (ヤーコブ ウント ヨーゼフ・コーン)
ブナ
112.0×64.0cm

58

エゴン・シーレ
レオポルト・ツィハチェックの肖像
1907年
油彩、カンヴァス
149.8×49.7cm

59

エゴン・シーレ
男性裸像 (自画像) I
1912年
リトグラフ、紙
44.8×40.0cm

60

エゴン・シーレ
男の肖像
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
12.2×10.5cm

61

エゴン・シーレ
自画像
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
22.0×18.0cm

62

エゴン・シーレ
フランツ・ハウアーの肖像
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
13.0×11.0cm

63

エゴン・シーレ
シャガむ女
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
48.3×32.2cm

64

エゴン・シーレ
悲しみ
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
48.2×32.0cm

65

エゴン・シーレ
アルトゥール・レスラーの肖像
1914年 (1922年刷)

ドライポイント、紙
24.2×32.0cm

66
エゴン・シーレ
座る少女: シュテファニー・グリュンヴァルト
1918年
クレヨン、紙
47.0×30.1cm

67
エゴン・シーレ
パリス・フォン・ギュータースローの肖像
1918年(1922年刷)
リトグラフ、紙
26.4×30.2cm

68
エゴン・シーレ
少女
1918年(1922年刷)
リトグラフ、紙
21.1×37.3cm

69
ヴェル・サクルム
1898-99年
印刷、紙
23冊、各29.3×28.3cm

70
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5cm

71
藤田 嗣治
青衣の少女
1925年
油彩、カンヴァス
55.0×38.0cm
愛知県美術館蔵

72
アントン・ヨーゼフ・トリチカ
セルフ・ポートレート
1912年(2002年プリント)
プラチナパラディウムプリント
13.6×8.4cm

73
アントン・ヨーゼフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年(2002年プリント)
プラチナパラディウムプリント
22.5×16.1cm

74
アントン・ヨーゼフ・トリチカ
グスタフ・クリムト
1914年(2002年プリント)
プラチナパラディウムプリント
17.4×23.2cm

75
アントン・ヨーゼフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年(2002年プリント)
プラチナパラディウムプリント
21.8×17.0cm

76
アントン・ヨーゼフ・トリチカ
エゴン・シーレ
1914年(2002年プリント)
プラチナパラディウムプリント
20.4×15.6cm

77
アントン・ヨーゼフ・トリチカ
フーゴー・ゾンネンシャイン
1914年頃(2002年プリント)
プラチナパラディウムプリント
14.9×6.0cm

78
ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0cm

79
ジェームズ・アンソール
キリストのブリュッセル入城
1898年
エッチング、紙
24.8×35.6cm

80
マックス・クリンガー
ミュージズの頭部
1890年以前
大理石に着色
17.5×34.5×23.2cm

展示室6

81
小堀 四郎
修道士の顔
1930年
油彩、カンヴァスボード
40.8×33.0cm

82
小堀 四郎
伊太利の女 I

1932年頃
バステル、紙
32.5×32.7cm

83
小堀 四郎
伊太利の女 II
1932年
バステル、紙
32.5×32.7cm

84
小堀 四郎
桃
1938年
油彩、カンヴァスボード
45.9×55.0cm

85
小堀 四郎
早春(柿生)
1941年頃
油彩、カンヴァス
60.7×72.7cm

86
小堀 四郎
鶴川風景(夏)
1944年
油彩、カンヴァス
73.0×53.5cm

87
小堀 四郎
鶴川風景(ひぐらし)
1944年
油彩、カンヴァス
72.5×50.3cm

88
小堀 四郎
小梨と藤
1950年
油彩、カンヴァス
116.5×80.6cm

89
小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩、カンヴァス
112.4×162.0cm

90
小堀 四郎
生命の神秘(千年の藤)
1986年
油彩、カンヴァス
164.8×130.5cm

展示室7

91
宮脇 綾子
うちわの中のうになど
1967年
アプリケ
32.7×25.6cm

92
宮脇 綾子
にわとり
1968年
はりえ
26.0×23.5cm

93
宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アプリケ
30.2×21.0cm

94
宮脇 綾子
せみ
1974年
アプリケ
29.0×23.0cm

95
宮脇 綾子
めざし
1975年
アプリケ
26.3×23.2cm

96
宮脇 綾子
いちご
1980年
アプリケ
31.0×38.0cm

97
宮脇 綾子
とうもろこし
1982年
アプリケ
42.2×32.0cm

98
宮脇 綾子
彼岸花
1982年
アプリケ
55.5×31.5cm

99
宮脇 綾子
甘夏みかんと柚子

1985年
アプリケ
34.0×34.5cm

100
宮脇 綾子
かわいい毛虫
1986年
アプリケ
32.0×21.2cm

101
宮脇 綾子
ここみ
1986年
アプリケ
25.5×37.0cm

102
宮脇 綾子
たいやき
1989年
アプリケ
35.0×36.5cm

103
宮脇 晴
ハンモックの少女
1933年
油彩、カンヴァス
90.9×116.7cm

104
宮脇 晴
すべる子ら
1934年
油彩、カンヴァス
80.3×116.7cm

105
宮脇 晴
葡萄を食べる子
1935年
油彩、カンヴァス
100.0×73.0cm

106
宮脇 晴
笛
1965年
油彩、カンヴァス
116.7×72.7cm

高橋節郎館 第1期常設展示

2018年4月24日 [火] - 7月16日 [月・祝]

74日間

高橋節郎館

01
高橋 節郎
花天
1990年
鍍金、蝶細、堆朱
90.7×116.6cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

02
高橋 節郎
万化
1991年
鍍金、蝶細、堆朱
95.7×116.7cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

03
高橋 節郎
古墳月彩
1979年
鍍金、蝶細
179.2×169.6cm

04
高橋 節郎
天宙の記
1972年
鍍金
182.0×182.8cm

05
高橋 節郎
古墳借景
1978年
鍍金、蝶細
176.0×170.0cm

06
高橋 節郎
蠶気楼「空中都市」
1961年
朱印き塗、鍍金
187.8×181.6cm

07
高橋 節郎
古墳悠悠
1985年
鍍金、蝶細、堆朱
176.3×173.0cm

08
高橋 節郎
化石の年輪
1965年
鍍金、彩精絵
182.8×182.6cm

09
高橋 節郎
蠶気楼
1960年
鍍金、彩精絵、蝶細
197.5×182.0cm

10
高橋 節郎
古墳
1964年
彩精絵
123.3×95.3cm

11
高橋 節郎
化石深海 A
1964年
モノタイプ (版画)、漆、紙
63.4×95.3cm

12
高橋 節郎
化石深海 B
1964年
モノタイプ (版画)、漆、紙
59.5×95.0cm

13
高橋 節郎
海層
1970年
鍍金、彩精絵
115.0×90.8cm

14
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

15
高橋 節郎
海 (春)
1993年
鍍金、彩精絵、蝶細
3.0cm、Φ41.5cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

16
高橋 節郎
弧
制作年不詳
モノタイプ (版画)、漆、紙
60.1×68.4cm

17
高橋 節郎
触
1975年
モノタイプ (版画)、漆、紙
55.8×82.6cm

18
高橋 節郎
型
1966年
モノタイプ (版画)、漆、紙
55.7×82.7cm

19
高橋 節郎
紋
1972年
鍍金、彩精絵
121.0×90.8cm

20
高橋 節郎
遠い記録
1973年
鍍金、蝶細
120.9×98.0cm

21
高橋 節郎
日月の宮～日
制作年不詳
呂色塗、蒔絵
13.5×44.5×25.5cm

22
高橋 節郎
日月の宮～月
制作年不詳
呂色塗、蒔絵
14.0×50.5×25.0cm

23
高橋 節郎
龍 (色紙)
1996年
書／墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm

24
高橋 節郎
花 (色紙)
1996年
書／墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm

25
高橋 節郎
岳 (色紙)
1996年
書／墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm

26
高橋 節郎
風 (色紙)
1996年
書／墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm

27
高橋 節郎
雲 (色紙)
1996年
書／墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm

28
高橋 節郎
嶽 (色紙)
1990年
書／墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm

29
高橋 節郎
地久大恵 11a
1993年
木芯乾漆
12.0×17.0×99.5cm

30
高橋 節郎
地久大恵 11b
1993年
木芯乾漆
11.5×17.0×87.0cm

31
高橋 節郎
地久大恵 樹1
1994年
木芯乾漆
36.0cm、Φ17.0cm

32
高橋 節郎
地久大恵 樹2
1994年
木芯乾漆
20.0cm、Φ6.5cm

33
高橋 節郎
地久大恵 10
1993年
木芯乾漆
87.5×19.0×37.0cm

34
高橋 節郎
踊り
1954年
鍍金、蝶細、アルミニウム合金板
121.5×84.8cm

35
高橋 節郎
寓話
1962年
鍍金、アルミニウム合金板
48.3×29.5cm

36
高橋 節郎
地平線の見える静物
1965年
鍍金
画面サイズ37.0×44.0cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

37
高橋 節郎
乾漆壺 3
1989年
乾漆
59.4cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

38
高橋 節郎
乾漆壺 6
1981年 (1989年再制作)
乾漆
21.0cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

39
高橋 節郎
壺
制作年不詳
モノタイプ (版画)、漆、紙
82.8×55.5cm

40
高橋 節郎
樹下小憩
1980年
鍍金、蝶細
120.0×87.3cm

41
高橋 節郎
円の中のさくらんぼ (薰風)
1987年
鍍金、蝶細、堆朱
1.3cm、Φ41.3cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

42
高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 1
1994年
鍍金
3.0×23.1×23.0cm

43
高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 2
1994年

44
高橋 節郎
鍍金線紋壺 琴弦
1982年
鍍金
6.4cm、Φ6.7cm

45
高橋 節郎
円の中の海 (夏)
1987年
鍍金、彩精絵、蝶細
1.3cm、Φ41.2cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

46
高橋 節郎
花農
制作年不詳
鍍金、蝶細、堆朱
21.3×27.5cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

47
高橋 節郎
ハーブ：銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財) 高橋記念美術文化振興財団蔵

48
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鍍金、蝶細
104.5×150.5×188.0cm

ブリューゲル展 画家一族150年の系譜

2018年4月24日 [火] - 7月16日 [月・祝]

74日間

展示室 8

16、17世紀のヨーロッパにおいて最も影響力を持った画家一族のひとつだったブリューゲル一族。その祖であるピーテル・ブリューゲル1世は、雄大な風景や農村の四季の営み、あるいは民衆の生活やことわざの世界など身近な主題を分かりやすく描き人気を得た。ピーテル1世の優れた点は、現実世界を冷静に見つめ、自然や人間の日常生活をありのままに描き、その本質を生き活きと表現した点にある。この画家としての眼差しは、彼の二人の息子、更にその子孫たちへと受け継がれ、一族の伝統を築き上げた。

本展は、ブリューゲル一族4世代150年の系譜を辿りながら、風景画、風俗画、寓意画、花の静物画など、一族や同時代の画家たちが描き出した作品を紹介し、16、17世紀フランドル絵画の魅力に光をあてた。

観覧料: 一般1,500円 [1,300円] / 高大生1,100円 [900円] / 中学生以下無料

* [] 内は20名以上の団体料金、*障がい者手帳をお持ちの方(介添え者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料【要証明】

主催: 豊田市美術館、中京テレビ放送

後援: 愛知県教育委員会

協賛: トヨタすまいるライフ、光村印刷

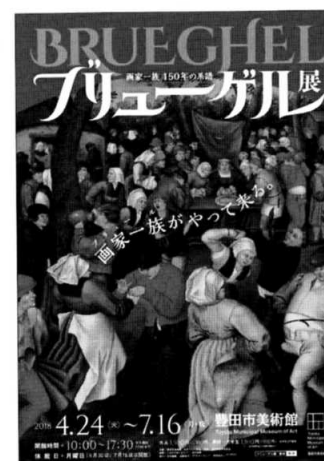
協力: 日本通運

企画協力: NTV ヨーロッパ

特別協力: ARTHEMISIA

出品点数: 101点

観覧者数: 46,387人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

カタログ

関連事業:

■ 講演会「農民のブリューゲルから花のブリューゲルへー華麗なる画家一族」

講師: 千足伸行 (美術評論家、成城大学名誉教授)

日時: 5月13日 [日] 午後2時 - 3時30分

会場: 講堂

■ 講演会「フランドル・バロックの魅力: ブリューゲルの子どもたちを中心に」

講師: 千速敏男 (成安造形大学芸術学部教授)

日時: 7月1日 [日] 午後2時 - 3時30分

会場: 講堂

印刷物:

ポスター: B1判、B2判

チラシ: A4判 / 4ページ

作品リスト: A4判 / 6ページ

図録: 26.1×18.9cm / 256ページ

作品輸送・展示:

日本通運株式会社

会場設営:

株式会社カトウスタチオ

学芸担当: 北谷正雄、西崎紀衣

庶務担当: 松下広江、塚田恵理子

01

ヘラルト・ダーフィット

エジプト逃避途上の休息

制作年不詳

油彩、テンペラ、板

45.0×36.4cm

個人蔵

02

ヨース・ファン・クレーフェ

サクランボの聖母

制作年不詳

油彩、板

62.8×51.8cm

個人蔵

03

ヤン・ファン・ドールニク (通称「1518年の画家」)

三連祭壇画

東方三博士の礼拝(中央)、キリストの降誕(左翼)、キリストの割礼(右翼)

制作年不詳

油彩、板

77.0×106.0cm

個人蔵

04

ピーテル・クック・ファン・アールストと工房

三連祭壇画

東方三博士の礼拝(中央)、受胎告知(左翼)、キリストの降誕(右翼)

1540-50年頃

油彩、テンペラ、板

中央: 88.5×57.0cm、両翼: 各88.0×24.5cm

個人蔵

05

ヒエロニムス・ボス [下絵]

コルネリス・ファン・ティーン [彫版]

告解の火曜日 - ワッフルを焼く人のいるオランダの厨房

1650年頃

エッチング、エンブレイヴィング、インク

22.5×29.1cm

個人蔵

06

ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵]

ヤン・トルカス・ファン・デュークム [彫版]

エマオへの巡礼

1555年頃

エッチング、エンブレイヴィング、インク

32.4×42.7cm

個人蔵

07

ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵]

フィリップス・ハレ (帰属) [彫版]

希望

1560年

エッチング、エンブレイヴィング、インク

22.3×28.6cm

個人蔵

08

ピーテル・ブリューゲル1世

フィリップス・ハレ (帰属) [彫版]

節制

1560年頃

エッチング、エンブレイヴィング、インク

20.8×28.6cm

個人蔵

09

ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵]

ピーテル・ファン・デル・ヘイデン [彫版]

最後の審判

1558年

エッチング、エンブレイヴィング、インク

22.5×29.4cm

個人蔵

10

ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵]

ピーテル・ファン・デル・ヘイデン [彫版]

金銭の戦い

1570年以降 (初版)、1650年以降 (再版)

エッチング、エンブレイヴィング、インク

23.6×31.2cm

個人蔵

11

ヤン・マンデイン

キリストの冥府への降下

制作年不詳

油彩、板

70.5×92.0cm

個人蔵

12

ピーテル・ブリューゲル1世と工房

キリストの復活

1563年頃

油彩、板

107.0×73.8cm

個人蔵

13

マールテン・ファン・ファルケンボルフ

ヘンドリック・ファン・クレーフェ

バベルの塔

1580年頃

油彩、カンヴァス

53.0×76.0cm

個人蔵

14

ヤン・ブリューゲル1世

荒野の聖ヒエロニムス

希望

1597-1600年頃

油彩、銅板

11.3×14.9cm

個人蔵

15

ヨース・デ・モンベル

セバスティアン・フランク

山岳風景

1630年頃

油彩、板

43.0×34.0cm

個人蔵

16

ピーテル・ブリューゲル1世

ヤーコフ・グリーンメル

種をまく人のたとえがある風景

1557年

油彩、板

52.0×68.5cm

個人蔵

17

ヤン・ブリューゲル1世

農民と動物のいる村の風景

1609年

油彩、銅板

11.2×16.8cm

個人蔵

18

ヤン・ブリューゲル1世

水浴をする人たちのいる川の風景

1595-1600年頃

油彩、銅板

17.0×22.0cm

個人蔵

19

ヤン・ブリューゲル1世

川の風景

1604-06年頃 (?)

油彩、板

18.7×24.4cm

個人蔵

20

ヨセフ・ファン・ブレダール

川の風景

1700-10年頃

油彩、銅板

32.0×41.0cm

個人蔵

21

ヤン・ブリューゲル2世

アントウェルペンを臨む川の風景

1620年頃

茶色のインク、紙

22.0×32.0cm

個人蔵

22

ヤン・ブリューゲル2世

風車と聖堂のある川の風景

1625-30年頃

茶色のインク、明るい茶色の紙

14.8×24.6cm

個人蔵

23

ヤン・ブリューゲル1世

旅人と風車のある風景

1604-05年頃

ペン、茶色のインク、黒チョーク、茶色と青のウォッシュ、紙

24.4×33.3cm

個人蔵

24

ヤン・ブリューゲル2世

ボートの浮かぶ川辺の農村風景

1635-40年

茶色のインク、明るい茶色の紙

15.5×30.8cm

ブリュッセル、バルク・ロクマリア伯爵蔵

25

ヤーコフ・グリーンメル

フランドルの農村

1565-70年頃

ペン、黒と茶色のインク、灰色と緑のウォッシュによるハイライト、紙

19.5×29.0cm

個人蔵

26

ヤーコフ・グリーンメル

マールテン・ファン・クレーフェ

野外で働く農民のいるフランドルの農村

1565-70年頃

油彩、板

44.0×59.0cm

個人蔵

27

ヤン・ブリューゲル2世

市場からの帰路につく農民たち

1630年頃

油彩、板に貼り付けた銅板

12.7×15.0cm

個人蔵

28

ヨセフ・ファン・ブレダール

市場からの帰路につく農民たち

1700-10年頃

油彩、銅板

27.0×35.0cm

個人蔵

- 29**
ヤン・ブリューゲル1世 (?)
ルカス・ファン・ファルケンボルフ
アーチ状の橋のある海沿いの町
1590-95年頃
油彩、板
33.3×54.8cm
個人蔵
- 30**
ヤン・ブリューゲル1世周辺の画家
狩人のいる川の風景
1610-20年頃
油彩、銅板
30.1×40.3cm
個人蔵
- 31**
ヤン・ブリューゲル2世
田舎道で水を飲む牛
1635年頃
油彩、板
26.0×36.5cm
ロンドン、ブライアン・L・コートサー蔵
- 32**
ヤン・ブリューゲル2世
ヨース・デ・モンベル
旅行者のいる山岳風景
1625-30年頃
油彩、板
37.8×69.6cm
個人蔵
- 33**
セバステリアン・フランク
野に向かう農民のいる風景
1620-25年頃
油彩、板
66.0×97.0cm
個人蔵
- 34**
マールテン・ファン・クレーフェ
よき羊飼いのたとえ
1578-80年頃
油彩、板
28.5×47.0cm
個人蔵
- 35**
ヤン・ブリューゲル2世
聖ウベルトゥスの幻視
1630年頃
油彩、カンヴァス
66.5×92.5cm
個人蔵
- 36**
ヤン・ブリューゲル1世
エジプト逃避途上の休息
1602-05年頃
油彩、板に貼り付けた銅板
15.0×11.5cm
個人蔵
- 37**
ヤン・ブリューゲル2世
風景の中の聖母子と天使
1630年頃
油彩、板
55.0×75.0cm
個人蔵
- 38**
ヤン・ブリューゲル2世
聖母子と洗礼者ヨハネと天使のいる森の風景
1645-50年頃
油彩、カンヴァス
115.5×167.5cm
個人蔵
- 39**
ヤン・ブリューゲル1世
鳥罾(表) スケートをする人がいる冬の川の風景(裏)
1595-1600年頃
茶色のインク、明るい茶色の紙
20.6×32.3cm
個人蔵
- 40**
ピーテル・ブリューゲル2世
鳥罾
1601年
油彩、板
37.5×56.6cm
個人蔵
- 41**
ヤン・ブリューゲル1世
アウテケルの城
1595-1600年頃
茶色のインク、紙
12.4×31.5cm
個人蔵
- 42**
ヤン・ブリューゲル1世
城砦のある川辺の村
1615年頃
茶色のインク、青灰色の紙
25.7×45.0cm
個人蔵
- 43**
ヤン・ブリューゲル1世
テルグューレンの城
1595-1600年頃
茶色のインク、明るい茶色の紙
15.8×17.9cm

- 個人蔵
- 44**
ヤン・ブリューゲル1世
ローマのカッファレツリ・クレメンティノー宮
1589-1600年頃
黒のチョーク、ペン、茶色のインク、茶色の紙
18.7×27.2cm
個人蔵
- 45**
マールテン・ファン・クレーフェ
嬰兒虐殺を伴う冬の風景
1570年頃
油彩、板
74.0×106.5cm
個人蔵
- 46**
ヤン・ブリューゲル2世
冬の市場への道
1625年頃
テンペラ、紙
14.0×23.0cm
個人蔵
- 47**
ヤン・ブリューゲル2世
スケートをする人がいるフランドルの農村
1630-35年頃
油彩、板
49.0×64.0cm
個人蔵
- 48**
フランス・デ・モンベル
冬のフランドルの農村
制作年不詳
油彩、板
46.0×59.5cm
個人蔵
- 49**
ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵]
フランス・ハイス [彫版]
イカロスの墜落の情景を伴う3本マストの武装帆船
1561-62年頃
エッチング、エングレーヴィング、インク
22.1×28.6cm
個人蔵
- 50**
ピーテル・ブリューゲル1世 [下絵]
フランス・ハイス [彫版]
港を出る4本マストの武装帆船
1561年頃
エッチング、エングレーヴィング、インク
22.2×27.7cm
個人蔵

- 51**
ピーテル・ブリューゲル1世
[下絵]フランス・ハイス [彫版]
港へ向かう4本マストの武装帆船
1561-62年頃
エッチング、エングレーヴィング、インク
28.8×21.6cm
個人蔵
- 52**
ヤン・ブリューゲル1世
城砦のそばの小船
1600年頃
黒チョーク、ペン、茶色のインク、水彩によるハイライト、紙
24.7×40.0cm
個人蔵
- 53**
ヤン・ブリューゲル1世
山沿いの海岸線をいく船団
1590-95年頃
黒チョークの上に赤と青のチョーク、紙
21.0×28.8cm
個人蔵
- 54**
ヤン・ブリューゲル1世
港に停泊する釣り船
1620年頃
茶色のインク、ウォッシュ、明るい茶色の紙
11.6×18.6cm
個人蔵
- 55**
ヤン・ブリューゲル1世
川の風景
1620年頃
茶色のインク、ウォッシュ、明るい茶色の紙
11.6×18.6cm
個人蔵
- 56**
ヤン・ブリューゲル1世
田舎道を行く馬車と旅人
1610年頃
油彩、銅板
12.2×20.0cm
個人蔵
- 57**
ヤン・ブリューゲル2世
市場への道
1630年頃
ペン、茶色のインク、青と灰色のウォッシュ、明るい茶色の紙
18.6×28.4cm
個人蔵

- 58**
ピーテル・ブリューゲル2世
農民がいる丘の風景
1616年頃
茶色のインク、明るい茶色の紙
19.4×30.5cm
個人蔵
- 59**
ヤン・ブリューゲル1世
旅人がいる村の通り
1613-15年頃
ペン、茶色のインク、明るい茶色の紙
17.4×29.9cm
バルク・ロクマリア伯爵蔵
- 60**
ヤン・ブリューゲル1世
橋のある運河沿いの家屋と馬車 (a)
1615年頃
ペン、茶色のインク、青のハイライト、明るい茶色の紙
14.6×20.4cm
個人蔵
- 61**
ヤン・ブリューゲル1世
橋のある運河沿いの家屋と馬車 (b)
1615年頃
ペン、茶色のインク、青のハイライト、明るい茶色の紙
14.6×20.4cm
個人蔵
- 62**
ヤン・ブリューゲル1世
馬と荷牛(準備素描)
1610年頃
黒チョークの上に赤と青のチョーク、紙
9.7×19.8cm
個人蔵
- 63**
ヤン・ブリューゲル2世
すれ違う旅行者たち
1630年頃
茶色のウォッシュ、茶色のインク、紙
17.0×16.7cm
個人蔵
- 64**
ダーフィット・デニールス2世
宿屋の農民
1655-60年頃
油彩、板
30.5×25.2cm
個人蔵

- 65**
ヤン・ブリューゲル2世
バルトロメオ・カヴァロツィ
花輪に囲まれた聖家族
1620-25年頃
油彩、板
104.0×74.0cm
個人蔵
- 66**
ヤン・ブリューゲル1世
ノアの箱舟への乗船
1615年頃
油彩、板
43.9×64.5cm
テッサウ、アンハルト 絵画館蔵
- 67**
ヤン・ブリューゲル2世
地上の楽園
1620-25年頃
油彩、銅板
35.5×50.0cm
個人蔵
- 68**
ヤン・ブリューゲル2世
ヘンドリック・ファン・バーレン
四大元素—大気
1630年頃
油彩、板
41.5×58.5cm
個人蔵
- 69**
ヤン・ブリューゲル2世
ヘンドリック・ファン・バーレン
四大元素—火
1630年頃
油彩、板
41.5×58.5cm
個人蔵
- 70**
ヤン・ブリューゲル2世
平和の寓意
1640年代
油彩、カンヴァス
66.5×90.6cm
個人蔵
- 71**
ヤン・ブリューゲル2世
戦争の寓意
1640年代
油彩、カンヴァス
69.2×91.0cm
個人蔵

- 72**
ヤン・ブリューゲル2世
嗅覚の寓意
1645-50年頃
油彩、カンヴァス
57.0×82.5cm
個人蔵
- 73**
ヤン・ブリューゲル2世
聴覚の寓意
1645-50年頃
油彩、カンヴァス
57.0×82.5cm
個人蔵
- 74**
ヤン・ブリューゲル2世
愛の寓意
1648-50年頃
油彩、銅板
88.0×104.0cm
個人蔵
- 75**
ピーテル・パウル・ルーベンスと工房
フランス・スナイデル
豊穡の角をもつ3人のニンフ
制作年不詳
油彩、カンヴァス
207.0×153.0cm
個人蔵
- 76**
アンブロシウス・ブリューゲル
四大元素—大地
1645年頃
油彩、カンヴァス
37.0×56.5cm
個人蔵
- 77**
アンブロシウス・ブリューゲル
四大元素—水
1645年頃
油彩、カンヴァス
36.0×52.0cm
個人蔵
- 78**
アンブロシウス・ブリューゲル
四大元素—大気
1645年頃
油彩、カンヴァス
36.0×52.0cm
個人蔵
- 79**
アンブロシウス・ブリューゲル
四大元素—火
1645年頃

- 油彩、カンヴァス
37.0×56.5cm
個人蔵
- 80**
アブラハム・ブリューゲル
ルイー・ガルツィ
果物の静物がある夏の寓意
1670-75年
油彩、カンヴァス
97.2×72.7cm
個人蔵
- 81**
アブラハム・ブリューゲル
ルイー・ガルツィ
正義と平和の寓意
1660年頃
油彩、カンヴァス
148.5×130.0cm
個人蔵
- 82**
ヤン・ブリューゲル1世
ヤン・ブリューゲル2世
机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇
1615-20年頃
油彩、板
40.0×29.2cm
個人蔵
- 83**
ヤン・ブリューゲル2世
ガラスの花瓶に入った花束
1637-40年頃
油彩、板
54.3×36.0cm
個人蔵
- 84**
ヤン・ブリューゲル2世
籬と陶器の花瓶に入った花束
1640-45年頃
油彩、板
53.0×80.0cm
個人蔵
- 85**
ヤン・ブリューゲル2世
フランス・フランケン2世
彫刻と鍍金の施された花瓶に入った花束
1625-30年頃
油彩、板
116.0×91.0cm
個人蔵
- 86**
クリストッフエル・ファン・デン・ベルヘ
青い花瓶に入った種々の花々
1620年頃
油彩、銅板

作家名	作品名	展覧会名(期間)/会場	会期
宮脇 晴	人形を持って立つ少女		
宮脇 晴	仲田風景		
宮脇 晴	風景 海辺の農村		
宮脇 晴	樹上姉弟図		
宮脇 晴	橋上家族図		
宮脇 晴	子供たちと母		
宮脇 晴	家族		
宮脇 晴	赤と黄の椅子		
宮脇 晴	竹林に立つ像(綾子古稀)		
宮脇 晴	犬を引く自画像		
宮脇 晴	ひなげしの庭		
宮脇 晴	ほか 計59点		
松井 紫朗	Carved Goblet with Four Masses	ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代 国立国際美術館	2018年11月3日-2019年1月20日
黒田 辰秋	赤漆捻紋蓋物	Japonismes Japon Musée des Arts Décoratifs, Paris	2018年11月15日-2019年3月5日
山本 丘人	海の微風	めがねと旅する美術展 静岡県立美術館	2018年11月23日-2019年1月27日
藤田 嗣治	自画像	Léonard Foujita バリ日本文化会館	2019年1月16日-3月16日
イケムラレイコ	ドローレス	イケムラレイコ 土と星 Our Planet	
イケムラレイコ	黒の中に横臥して	国立新美術館	2019年1月18日-4月1日
イケムラレイコ	マロヤ湖のスキーヤー		
クリスチャン・ボルタンスキー	巽 1970/71	クリスチャン・ボルタンスキー Lifetime (2019年2月9日-2020年1月5日) 国立国際美術館	2019年2月9日-5月6日
ル・コルビュジエ	アームチェア(バスキュラン)	ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ビュリスムの時代	
ル・コルビュジエ	寝椅子(シェーズロング)	国立西洋美術館	2019年2月29日-5月19日

教育・普及

1 講演会、シンポジウム

企画展「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」 講演会「農民のブリューゲルから花のブリューゲル へ—華麗なる画家一族」

講師：千足伸行（美術評論家、成城大学名誉教授）

日時：5月13日[日]

午後2時—3時30分

会場：講堂

参加人数：170人

企画展「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」 講演会「フランドル・バロックの魅力：ブリューゲル の子どもたちを中心に」

講師：千速敏男（成安造形大学芸術学部教授）

日時：7月1日[日]

午後2時—3時30分

会場：講堂

参加人数：116人

2 講座、解説会、ギャラリートーク、 ワークショップ

解説会、ギャラリートーク

企画展「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」 学芸員によるギャラリートーク

日時：①5月10日[木] ②6月7日[木]

③7月5日[木]

午後3時—4時

会場：展示室8

参加人数：①55人 ②51人 ③63人

コレクション展「豊田市美術館+愛知県美術館」 2館学芸員によるギャラリートーク・エピソード2

副田一穂（愛知県美術館）×鈴木俊晴（豊田市美術館）

日時：6月3日[日]

午後3時—4時

会場：展示室4

参加人数：45人

3 コンサート、映画上映会、 パフォーマンス 等

コンサート

企画展「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」 関連コンサート「絵の中の音楽が聴こえてくる」

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団

日時：7月16日[月・祝]

会場：講堂

参加人数：160人

4 アウトリーチ活動

ふらっと美術館

テーマ「【夜ゼミ】T-FACEとの連携事業 モナリザは怒ってる!？」

講師：都筑正敏

日時：11月21日[水]

午後6時—7時30分

会場：T-FACE

参加人数：39人

テーマ「ファッション講座：芸術のはじまりは ファッションから？」

講師：千葉真智子

日時：12月5日[水]

午後6時—7時30分

会場：T-FACE

参加人数：17人

テーマ「わたしたちは、バラがなければ、それを しない。—ウィリアム・モリスから現代美術まで」

講師：鈴木俊晴

日時：1月23日[水]

午後6時—7時30分

会場：T-FACE

参加人数：26人

テーマ「丸わかり!豊田市美術館のコレクション」

講師：北谷正雄

日時：2月27日[水]

午後6時—7時30分

会場：T-FACE

参加人数：28人

テーマ「宮脇綾子のアプリーケー布とたわむれ、 暮らしをよるこぶ」

講師：成瀬美幸

日時：3月13日[水]

午後6時—7時30分

会場：T-FACE

参加人数：26人

対談

対談「構造と力と 抽象の力」

講師：浅田彰(批評家)×岡崎乾二郎(造形作家、批評家)

日時：3月16日[土]

午後2時—5時

会場：豊田市中央図書館多目的ホール

参加人数：100人

5 庭園活用事業

美術館庭園を活用し、美術館への来館促進及びにぎわいの創出を目的に平成27年(2015年)秋から実施

お庭でマルシェ

日時：①4月28日[土]—4月30日[月・祝]、

5月3日[木・祝]・4日[金・祝]

午前10時—午後5時(5日間)

②7月14日[土]—16日[月・祝]

午前10時—午後4時(3日間)

会場：庭園

参加人数：①9,469人、②3,045人 合計12,514人

出店数：①のべ133店(1日平均27店)

②のべ44店(1日平均15店)

共催：豊田市中心市街地活性化協議会

運営：一般社団法人TCCM

6 作品ガイド・ボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年より活動を開始。
平成31年3月現在、33名が登録。

ギャラリートツアー

内容：来館者との対話を交えながら、企画展/常設展の展示作品についてのギャラリートツアーを行った。

定時：毎日(木曜日を除く)

午後2時—(関連事業開催日は午前11時—)

土・日・祝日は午前11時—と午後2時—の

2回開催

団体：団体からの事前予約によるツアー

定時	活動回数	96
	参加者数	863
団体	件数	26
	参加者数	1,011
参加者数合計		2,079

現代美術の鑑賞入門

作品をじっくり読み解くギャラリートーク

内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、ひとつの作品を30-40分かけて鑑賞するプログラム。各回午後1時-

日にち	トーカー	作品	参加人数
4/7	堤	猪熊《美しき地下天国》、レジェ《緑の葉のあるコンポジション》	25
4/30	中尾	フランシス《消失に向かう地点の青》	32
5/26	中野	マティス《待つ》	32
6/9	根本	キルヒナー《グラスのある静物》	32
6/23	林	ココシュカ《絵筆を持つ自画像》	24
7/16	塚本	バルテュス《馬に乗った女曲芸師》	50
計			195

特別研修会「美を感じる力」

講師：加藤博子（哲学者）
日時：3月28日[土]
午前10時-11時30分
会場：会議室
参加人数：26人

7 出版、ビデオ、オーディオガイド制作

出版、印刷物

『紀要 No.11』
『年報（平成30年度版）』
『配布用ギャラリーガイド』
企画展、テーマ展、常設展に関する出版/印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

常設展配布物制作

「コレクション：閉じる、開く、また閉じる。」
リーフレット：A4三ツ折
デザイン：岡田和奈佳

ビデオ制作

企画展「ブリューゲル展-画家一族150年の系譜」記録ビデオ 15分
常設展「コレクション：閉じる、開く、また閉じる」記録ビデオ 15分
豊田市美術館紹介ビデオ 10分
高橋節郎館紹介ビデオ 10分

オーディオガイド制作

高橋節郎館オーディオガイド作成

8 小・中学校美術館学習

来館日	学校名	人数
4月27日	豊田市立朝日丘中学校3年①	33
5月1日	豊田市立山之手小学校	55
5月1日	豊田市立朝日丘中学校3年②	33
5月8日	豊田市立朝日丘中学校3年③	35
5月8日	豊田市立朝日丘中学校3年④	35
5月10日	豊田市立朝日丘中学校3年⑤	35
5月10日	豊田市立朝日丘中学校3年⑥	35
5月11日	豊田市立朝日丘中学校3年⑦	35
5月18日	豊田市立朝日丘中学校3年⑧	35
6月1日	豊田市立童子山小学校	107
6月12日	武豊町立武豊中学校	325
6月15日	豊田市立敷島小学校	18
6月24日	豊田市立竜神中学校 美術部	12
7月3日	豊田市朝日丘中学校 美術部	60
7月7日	東郷中学校 美術部	19
7月14日	豊川市南部中学校	30
7月15日	愛知工業大学名電中学校	10

9 研修会

来館日	団体名	人数
4月26日	豊田信用金庫 新入社員研修	51
6月19日	愛知県高等学校 美術・工芸研究会	20
6月23日	豊田市教育研究会 図工美術部会	30
6月23日	漆=Japan研究会	21
7月6日	名古屋市高等学校教員研修	14

10 博物館実習

改修工事のため実施せず

利用実績

1 観覧者数

(人)

年	月	企画展・常設特別展			常設展			高橋節郎館			合計			
		日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	
30	4	14	6,678	477	14	4,517	323	14	1,632	117	14	12,827	916	
		5	27	15,876	588	27	9,776	362	27	4,175	155	27	29,827	1,105
		6	26	13,806	531	26	8,337	321	26	3,357	129	26	25,500	981
		7	14	11,770	841	14	6,679	477	14	2,319	166	14	20,768	1,483
合計		81	48,130	594	81	29,309	362	81	11,483	142	81	88,922	1,098	

2 ギャラリー利用状況

※美術館利用分除く

(人)

開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数	1日平均	市内
2018年4月24日(火)~4月29日(日)	6	片桐幸行展	773	128	市内
5月8日(火)~5月13日(日)	6	ラ・ヴァレー-豊田展	603	100	市内
5月15日(火)~5月20日(日)	5	G.A.M展	1,028	205	市内
5月22日(火)~5月27日(日)	6	三上正展	1,006	167	市内
5月29日(火)~6月3日(日)	6	志賀龍太展	451	75	市内
6月5日(火)~6月10日(日)	6	豊田工芸協会展	723	120	市内
6月12日(火)~6月17日(日)	6	伊藤よし子展	489	81	市内
6月19日(火)~6月24日(日)	6	新美術協会展	574	95	市内
6月26日(火)~7月1日(日)	6	金属造形の会展	1,096	182	市内
7月3日(火)~7月8日(日)	6	彩画展豊田特別展	927	154	市内
7月10日(火)~7月15日(日)	6	創造の仲間たち展	876	146	市内
合計	65		8,546		

利用可能週：12週 / 利用した週：11週 / 稼働率：91.67% / 市内比率：100.0%

3 | ライブラリー利用状況

(人)

年	月	利用人数	
30	4	269	
	5	412	
	6	330	
	7	423	
	8	0	
	9	0	
	10	0	
	11	0	
	12	0	
	31	1	0
		2	0
		3	0
合計		1,434	
1日平均		18	

4 | レストラン等付属施設利用状況

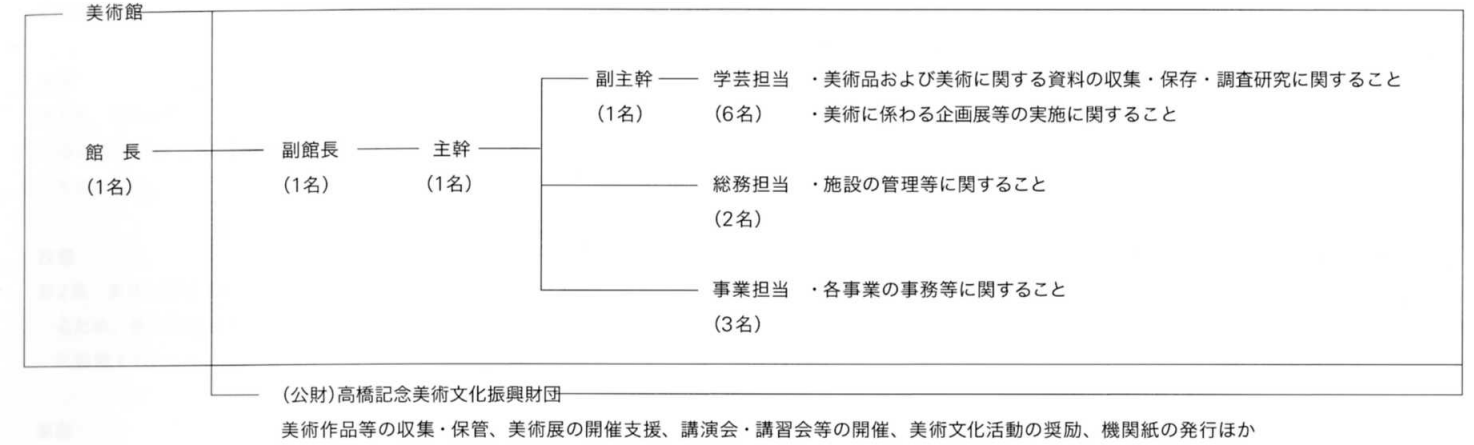
(人)

年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	その他施設	合計	
30	4	14	1,372	848	853	6,717	9,790	
	5	27	3,544	1,538	1,733	4,103	10,918	
	6	26	3,412	1,314	1,411	958	7,095	
	7	14	2,231	1,086	1,028	3,692	8,037	
	8		0	0	56	0	56	
	9		0	0	423	0	423	
	10		0	0	366	0	366	
	11		0	0	1,003	0	1,003	
	12		0	0	387	0	387	
	31	1		0	0	435	0	435
		2		0	0	59	0	59
		3		0	0	635	335	970
合計		81	10,559	4,786	8,389	15,805	39,539	

※その他施設：ワークショップルーム、講堂、又日亭、七州城、庭園
 ※茶室童子苑は、立礼席利用者と茶室利用者の合計
 ※7月17日～改修工事による休館で、茶室のみ貸出

組織

1 | 組織図 ※平成30年4月1日現在



※美術館の分掌事務

- ・美術館の運営管理に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ・美術に関する展覧会等の事業の実施に関すること
- ・美術に係る調査研究に関すること
- ・美術の啓発に関すること

※(公財)高橋記念美術文化振興財団は、事務局を豊田市美術館内に置き、美術館職員がその事務事業を兼務する

2 | 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及啓発、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ①委員 10名
- ②開催日 平成30年 7月6日(金)
平成31年 3月11日(月)

3 | 美術品収集委員会

- ①委員 6名
- ②平成30年度は開催せず

4 | 作品ガイドボランティア

毎日(木曜日を除く)午後2時から(土・日・祝日は午前11時からもあり)、来館者と対話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリートークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応をしました。

- ①発足 平成9年7月
- ②登録人数 33人 ※平成31年3月31日現在
- ③活動内容 ・常設展、企画展でのギャラリートัวร์
・美術館学習のための事前出張授業
・団体来館者への作品解説 など

関係法規

■ 豊田市美術館条例

平成7年3月31日

条例第1号

趣旨

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館(以下「美術館」という。)を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

- 第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。
- (1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
 - (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
 - (3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - (4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、教育委員会が必要と認めた事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

利用の許可

- 第5条 別表第2に掲げる施設(以下「施設」という。)を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等(以下「美術品等の利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
 - 3 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

- 第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。
- (1) 利用目的に違反すると認めるとき。
 - (2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めるとき。
 - (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
 - (4) その他管理上支障があると認めるとき。

許可の取消し等

- 第7条 教育委員会は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めるときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。
- (1) この条例又はこれに基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。

- (2) 許可に付された条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

2 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条 利用者(第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。)は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

設備の承認及び原状回復

- 第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。
- 2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
 - 3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条 教育委員会は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認められた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないとき、この限りでない。

美術館運営協議会

- 第15条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会(以下「運営協議会」という。)を置く。
- 2 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。
 - 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
 - (1) 学校教育の関係者
 - (2) 社会教育の関係者
 - (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (4) 学識経験を有する者
 - (5) 地域との連携に資する活動を行う者
 - (6) 公募による市民(市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。)
 - 4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委任

第16条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

1 この条例は、平成7年11月11日(以下「施行日」という。)から施行する。

準備行為

2 この条例の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則(平成15年3月28日条例第10号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成17年3月29日条例第24号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附則(平成18年12月27日条例第92号)

施行期日

1 この条例は、平成19年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

経過措置

2 施行日前に施行日以後の利用について許可を受けた者からは、改正前の豊田市美術館条例の規定にかかわらず、施行日前においても当該利用に係る改正後の豊田市美術館条例に定める額の使用料を徴収する。

附則(平成24年3月30日条例第14号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附則(平成28年3月30日条例第26号)

施行期日

1 この条例は、平成28年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

経過措置

2 施行日前に改正前の豊田市美術館条例別表第1の規定により定められた常設特別展示又は企画展示に係る観覧料の額については、当該常設特別展示又は企画展示の期間が終了するまでの間は、改正後の豊田市美術館条例別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成30年3月26日条例第14号)

施行期日

1 この条例は、平成30年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

経過措置

2 改正後の豊田市美術館条例別表第1備考第3項の規定は、同表備考第2項に規定する期間が施行日以後に終了するものについて適用する。

別表第1(第4条関係)

豊田市美術館観覧料

区分	観覧料(円)(1人1回につき)		年間観覧料(1人につき)
	個人	20人以上の団体	
常設展示	一般	300	250
	大学生又は高校生	200	150
常設特別展示	2,000円以内でその都度教育委員会が定める額		5,000円以内で教育委員会が定める額
企画展示			

備考

- 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 「年間観覧料」とは、当該観覧料を納付した日の翌日から起算して1年を経過する日の属する月の末日までの間、同一人が回数について制限を受けることなく観覧することができる観覧料をいう。
- 前項に規定する期間に美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間がかかる場合は、同項中「1年」とあるのは、「美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間の月数(当該期間に1月未満の端数がある場合は、これを1月に切り上げるものとする。)」を1年に加算した期間」とする。

別表第2(第5条、第8条関係)

豊田市美術館使用料

1 ギャラリー使用料

区分	利用目的	単位	使用料(円)
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2 茶室使用料

区分	利用目的	使用料(円)		
		午前(9:00~13:00)	午後(13:00~17:00)	夜間(17:00~21:00)
一步亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

豊田市美術館管理規則

平成7年9月29日

教育委員会規則第8号

趣旨

第1条 この規則は、豊田市美術館条例(平成7年条例第1号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、豊田市美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

開館日及び開館時間

第2条 美術館の開館時間及び休館日は、次の表のとおりとする。

区分	開館時間	休 館 日
美術館(茶室を除く。)	午前10時から午後5時30分まで	(1)月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。) (2)12月28日から翌年1月4日まで (3)美術品等(条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。)の展示替えの作業を行う日として教育委員会があらかじめ定める日
茶室	午前9時から午後9時まで	(1)月曜日(休日に当たる日を除く。) (2)12月28日から翌年1月4日まで

- 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等の展示会場(以下「展示会場」という。)へ入場できる時間(次項において「入場時間」という。)は、午前10時から午後5時までとする。
- 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間、休館日及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条 教育委員会は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

観覧券の提示

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 条例第5条第2項の規定により美術品等の利用許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 美術品等を利用する者の氏名及び住所
- 利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
- 美術品等の利用目的
- 美術品等の利用日時
- その他教育委員会が必要と認める事項

3 前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。ただし、教育委員会がその必要がないと認めるときは、この限りでない。

4 第1項及び第2項の許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、これらの項の申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条 教育委員会は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書(様式第2号。以下「許可書」という。)を申請者に交付する。

利用期間

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間(以下「利用期間」という。)は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用するときその他教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書(様式第3号)に許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書(様式第4号。以下「変更許可書」という。)を利用者に交付する。

3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用許可の取消し

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書(様式第5号)に許可書又は変更許可書を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書(様式第6号)を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- 小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
- 次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し、及び確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
 - 市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
 - 市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
 - 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
 - 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳
 - 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳
 - 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳
 - 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳
 - 市内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
 - 高齢者の医療の確保に関する法律施行規則(平成19年厚生労働省令第129号)第17条第1項に規定する被保険者証
 - 市が実施する母子・父子家庭医療費支給事業において当該母子・父子家庭医療費の受給者に対し交付する受給者証
- 美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 常設展示の観覧料の全額
- 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用する場合

- 使用料の全額
- (7) その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合 その都度教育委員会が定める額
- 2 前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第7号）を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第8号）を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。
- 3 教育委員会は、観覧料の減免申請を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第9号）を、使用料の減免申請を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第10号）を交付する。

優待券等

- 第11条 教育委員会は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

- 第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

- 第13条 利用者は、美術館の施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかななければならない。

事前打合せ

- 第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

- 第15条 利用者は、利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

- 第16条 利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
- (1) 利用許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。
 - (2) 次条各号に規定する行為をしないこと。
 - (3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。
 - (4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を与え、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。
 - (5) 係員の指示に従うこと。

入館者の禁止事項

- 第17条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。
- (1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。
 - (2) 図書閲覧室の図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。
 - (3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。
 - (4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
 - (5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。

- (6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をすること。
- (7) その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

美術館運営協議会の会長

- 第18条 豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 2 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

- 第19条 運営協議会は、会長が招集し、議長となる。
- 2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
 - 3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

委任

- 第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

- 1 この規則は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

準備行為

- 2 この規則の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則（平成13年3月30日教委規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成15年3月28日教委規則第3号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附則（平成16年12月27日教委規則第16号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月29日教委規則第5号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成18年12月27日教委規則第13号）

施行期日

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

経過措置

- 2 この規則の施行の際現に改正前の豊田市美術館管理規則の規定に基づいて作成されている帳票は、改正後の豊田市美術館管理規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附則（平成19年3月30日教委規則第4号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成20年3月28日教委規則第8号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則（平成26年10月1日教委規則第7号）

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附則（平成27年10月1日教委規則第17号）

施行期日

- 1 この規則は、平成27年10月1日から施行する。

経過措置

- 2 この規則の施行の際現に改正前の豊田市美術館管理規則の規定に基づいて作成されている帳票は、改正後の豊田市美術館管理規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附則（平成28年3月30日教委規則第4号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附則（平成30年3月30日教委規則第5号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分		期間
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から1月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から4月30日までの間
		利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から7月31日までの間
	茶室	利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から10月31日までの間
美術品等の利用		利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料還付の基準

区分	還付率
災害その他観覧料（年間観覧料を除く。）を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

使用料還付の基準

区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

沿革

昭和	54 (1979)年	7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
	59 (1984)年	3月	第4次豊田市総合計画(1984 - 1990)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成	2 (1990)年	4月	(仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
	3 (1991)年	3月	(仮称)豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
		4月	(仮称)豊田市美術館美術品収集委員会(平成6年8月に同選定委員会に改称)を設置
		9月	(仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
	4 (1992)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
	5 (1993)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
		6月	建設工事着工
		10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
	6 (1994)年	6月	デトロイト美術館との友好交流提携に調印
	7 (1995)年	3月	豊田市美術館条例公布
		6月	建設工事竣工
		11月	豊田市美術館開館
	8 (1996)年	7月	観覧者10万人達成
		11月	豊田市都市景観賞(主催:豊田市)
		12月	サインデザイン準優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
	9 (1997)年	11月	観覧者20万人達成
		11月	建築業協会賞(主催:建築業協会)
	10 (1998)年	2月	愛知まちなみ建築賞(主催:愛知県)
		4月	博物館登録
		12月	中部建築賞(主催:中部建築賞協議会)
	11 (1999)年	5月	観覧者30万人達成
	12 (2000)年	11月	公共建築賞(主催:(社)公共建築協会)
	13 (2001)年	1月	観覧者40万人達成
		12月	サインデザイン準優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
		12月	印刷出版研究所奨励賞(主催:印刷出版研究所)
	14 (2002)年	3月	豊田市美術館モニターを設置
		4月	豊田市美術館運営協議会を設置
		10月	グッドデザイン賞(主催:(財)日本産業デザイン振興会)
		12月	サインデザイン優秀賞(主催:(社)日本サインデザイン協会)
	15 (2003)年	1月	観覧者50万人達成
	16 (2004)年	9月	豊田市美術館評価専門委員会を設置
	17 (2005)年	11月	開館10周年記念事業
	22 (2010)年	12月	観覧者100万人達成
	26 (2014)年	9月	バリアフリー化等改修工事による休館(-27年10月)
	27 (2015)年	10月	リニューアルオープン
			開館20周年記念事業(-28年6月)
	29 (2017)年	1月	観覧者200万人達成
	30 (2018)年	7月	LED化等改修工事による休館(-令和元年5月)

豊田市美術館 年報 No.23 (平成30年度)

発行:2019年7月

編集・発行:豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel.0565-34-6610

印刷・製作:東名印刷株式会社